

令和8年(2026)

2月号

花粉さん
そんなに飛はさんでもよからう...

shin

koh

心耕

しん こう

西光寺々報

今月の行事

十二日(木) はじめの一步

午後一時 - 王舎城の悲劇上映

二十二日(日) 日曜法座

午後一時 - 法話・住職

四日(水) 勉強会

午後四時 - 壮年会

十二日(木) 勉強会

午前十時 - 婦人会

十三日(金) 写経会

午後一時 - 心静かに...

十四日(土) 寺カレ

認知症 午前十時 - 予約制

ヨガ 毎週火曜 午後一時 -

毎回千円、マツト持参

お朝事 毎朝六時半 -

本堂トイレリフォーム完了

おかり様で工事が終わりました。

サボン漬りを初めて

作った。母の故郷八代から

毎年立派なサボンを載

くので、今年はチャレンジし

てみた。最近はやさしく少

なくな、たが時々身作りの

サボン漬りをお参りの時に

出された事がある。その味が

忘れられぬのです。いざ作

るとなると工程が多い。皮を

四回、五回と煮て、水に一日さら

す。その後砂糖水で煮て、搾

り、干す。最後にグラニュー糖を

まぶして完成。しかし、また苦か

た。サボン漬りの苦味を知る。

阿弥陀仏は私をすくう為に、

永遠の工程と苦勞の果てに南

无阿弥陀仏を完成されました。

法座案内

各種ご案内

・お朝事

毎朝六時半～七時、お勤めをしています。日々の御参り、命日などにお参り下さい。

・草取り

冬期休暇。三月から再開です

・写経会

十三日(金) 十三時～十五時 どなたでも

・壮年会・婦人会主催の勉強会

壮年会 四日(水) 十六時～ 三月は四日
婦人会 十二日(木) 十時～

・Youtube 西光寺チャンネル更新

「観無量寿経法事用」現代語意識付で配信。他にも紙芝居やアニメ、読経を上げています。QRからどうぞ！



・はじめてのヨガ

毎週火曜日(祝日休) 十三時～ 毎回千円
ヨガマット持参 予約不要

十二日(木) 午後一時～
はじめの一步 第二回
観無量寿経を学びます。
お経の背景となる王舎城の悲劇の映像を見ます。初めての方、飛び込みもどうぞ

二十二日(日) 午後一時～
日曜法座

「み教えによって 自分のありのままの相が 知らされるのです」
今月の法語カレンダーから住職が法話をします。

・みんなの寺カフェ

みんなの寺カフェ
身近な人が認知症になったら

講師:地域包括支援センターせきぐんじ合&高橋瑞穂師(認知症ケア専門士)
認知症介護の心得について共に学びましょう!

2/14(土) 10:00～12:30
会費:大人500円 子ども無料
予約制:2/13締切 昼食付
場:西光寺400円市街地723-10
連絡先:0433-22-7412 公営バスへ
主催:みんなの寺カフェ 共催:西光寺

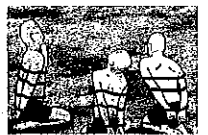
認知症の方への対処、支援を知ろう
内容 「身近な人が認知症になったら」
講師 地域包括支援センターこくぐんじ
台&高橋瑞穂さん(元ケアマネ)
日時 十四日(土) 十時～十二時半
昼食付 大人五〇〇円 子ども無料
予約制 お寺まで 締切 十三日

・探しています！無記名の振込の方！
昨年四月二十八日、門信徒会費を無記名で振り込まれた方がおられました。おそらく郵貯ダイレクトで振り込まれています。四月に振り込まれた方で、未だ受領証が届いていない方は連絡を下さい。

繫縛

漢字からみても意味が十分に伝わってきませんか。

「繫ぐ」と「縛る」で字の如



ミスは
自分では
気が付けません
おぼろ

く縛りつけるという意味です。世間では「けいばく」と

読み仏教では「けばく」と読みます。古代インド語では

bandahanaと表記し、バンドの語源ともなっています。

仏教では、迷いの輪廻を解脱することを目標としま

す。この解脱の対義語が「繫縛」なのです。我々は何か

に縛られているから悩むのです。その何かとは煩惱で

す。ああしたい、こうしたい、こんなはずではなかった、

これらすべて煩惱です。

親鸞聖人の師である法然聖人はこのような言葉を残

されました。

悪業煩惱のきずなを断たずば、何ぞ生死繫縛の身を

解脱する事を得んや。悲しきかな、悲しきかな。いか

がせん、いかがせん

だからこそ阿弥陀仏は願われているのだから念仏を称

えましようと言われました。

ちなみに「縛られて」という仏教紙芝居

も作成しています。「西光寺チャンネル」

で検索してください。



こんなところに

仏教用語

身近な仏教用語
を紹介して
います。

九品

「下品」、皆様は何と読みますか。「げひん」と読む方が多いかと思われます。仏教



では「げぼん」と読みます。「げひん」と読みますと、品がない、汚いしぐさという意味で用いられます。

では、仏教ではいかがでしょうか。「品」とは古代インド語

で、まとまり、種類という意味です。今期の初めの一步で学び

始めた『観無量寿経』の中で、極楽浄土に往生する人々を種類

別に分けた場面があります。上品、中品、下品です。さらにそ

れぞれを上生、中生、下生にわけ、上品上生といったように九

種類に分けられます。九品寺、九品の滝などはここが由来です。

上品、中品の人々は仏教の教えを守る人々です。下品の人々

は、様々な悪行をする人々です。下品下生となりますと、仏教

では最も重たい罪である五逆・十悪を行った人の事です。しか

し、そこではじめて南無阿弥陀仏と念仏を称えることが説明さ

れます。『観経』最後には、このお経の要は何ですかと問われ

た釈尊が「阿弥陀仏の名を保て、南無阿弥陀仏と称えよ」と言

われます。



観無量寿経 法事用

親鸞聖人は、この念仏の教えに導かれまし

た。今からでも遅くはありません。毎月十二日

の初めの一步で『観経』を学んでみませんか。

浄穢欣厭 『大経』末七

明けましておめでとうございます。長い休みが続く、そのことから仕事に打ち込めないとかやる気が無くなるなどの正月病になるらしいです。私もしばらく經典等や資料の作成などに手付かずでしたので何を書き出したらいいか悩んでいます。今年はどうも長い連休があるようで、五月病、八月病、九月病など沢山の病が出るのではないかと危惧するところです。毎日休みの私は何病？

前回は衆生の往生とどのようにに係るのかと言うことでした。つまり衆生のために二十二願の還相回向の菩薩衆がこの世界で挫けないためにいろいろな修行をして、その力で私たちを往生へ導いていくということです。その代表が観音菩薩と勢至菩薩でした。

今回は浄と穢および欣と厭という衆生の実際の有様が伺い知られる段であります。だから拯わずにはおれない十八願が建立された所です。親鸞聖人の思想信条の中心ではないかと思つています。大経のこの団は弥勒菩薩と人天に語ります。まずは身分の上下の別はない無量寿国をおのづから求むべしに続いて、それならば「かならず「迷ひの世界を」超絶して去つることを得て安養国に往生して、横に五惡趣を截り、惡趣自然に閉ぢ、道

に昇るに窮極なからん。「安養国は」行き易くして人なし。その国逆違せず、自然の牽くところなり」とあります。「横に五惡趣を截り」は『教行信証』信の巻きでは「横超とはすなはち願成就一実円満の真教、真宗これなり」で『正信偈』では「即横超截五惡趣」とあります。また聖人が書かれた『浄土文類聚鈔』では第十一願必死滅度の願の証明として挙げられております。名号の掛け軸「帰命尽十方無碍光如来」の上部に十八願文等と並べて掲げられています。また「自然の牽くところなり」は下巻の「往觀偈」の一節から「その仏の本願力、名を聞きて往生せんと欲へばみなことごとくかの国に到りて、おのづから不退転に致る」と重ねて本願力に依ると示しています。本願力の結果が「自然の牽くところなり」なのです。なのに「行き易くして人なし」なのです。聖人は『正信偈』で「邪見憍慢惡衆生 信樂受持甚以難 難中之難無過斯」と謳われています。本願力には義なきを義とすなのですが、私達衆生は「あでもないこうでもない」とゴタクを並べて生活しています。次はそんな私達です。

住職多感

正月、十・十一・十二の三日間、本山・西本願寺へ御正忌報恩講に参詣してきた。一人では無理なので、坊守と娘家族との総勢六人での参詣であった。中の一日、家族とは別行動で一人で学生時代からの友人に会いに行った。私が結婚して三・四年後、友人が五井を訪ねてくれて、ほぼ夜通し一升瓶を三本空にしてのみ語った。なので落ち合う場所は近鉄の駅、そして語らう場所は無論居酒屋。三時間、語りっ放し飲みっ放しのあつという間だった。ジャーナリストだったこともあり、本山の福祉にかこつけた不祥事を、「お前どうすんねん」と厳しく問うてきたが、いらん事に構うておられん。美味い話には蛆が湧く、そんなところに大事な話はない。話題を手元足元に引き寄せた。私は要介護の身、友人の妻は末期がんで、友人自身も近く検査入院するなどの話になった。

共に馴染みの京阪電車の駅まで歩き、友人は下り、私は上りで別れとなった。一人電車の席に座り、嬉しき・悲しき・悔しき、こった煮の感情を抑えて電車を降りて、三条大橋の欄干にもたれて鴨川の流れを眺めていた。飯を食っ

てない。ラーメンが食いたくなった。医者に止められてはいたが我慢できなかった。元気の意味がさっぱり分からないが、取り敢えず元気ではあるようだ。

西光寺から毎年配っている真宗教団連合発行のカレンダー。そこに書いてある毎月の標語を「今月の言葉」として解説しています。「心耕」とは別になりますがお寺に置いておきます。私の癖が強くなっているので読みづらいかもしれませんががお付き合ってください。以前はA4の表一枚でしたが両面になっています。

世の中だんだん悪くなる、と歌ったのが明治なら、世の中どんどん悪くなる、と歌うのが令和だろう。情報過多の社会で、何が本当かの判断は難しい。だが、山のような課題を前にして、よろずのこと、そろこととはこと、まことあることなきに、ただ念仏のみぞ、まことにておはします。であることは今もそのまんまである。トランプ・ブーチン・習近平と友人になろうとは思わない。彼らに媚を売り追随する者と一緒に歩こうとは思わない。お念仏と一緒に歩いてくださる。そこに沢山の笑顔がある。

三月の行事

- ・四日 勉強会
- ・八日 草取り
- ・十二日 勉強会・はじめの一步
- ・十三日 写経会
- ・十九・二十一日 春季彼岸会
- ・二十九日 寺カフェ
- ・ヨガ 毎週火曜
- ・お朝事 毎朝

発行

浄土真宗本願寺派(西)
西光寺

〒二九〇一〇〇二四

千葉県市原市根田

七二三一一



TEL : 0436-22-7412
FAX : 0436-24-1652
HP : <https://www.saikohji.net>
MAIL : saikohji@saikohji.net